

育苗管理特報

平成30年4月6日
入善産米品質向上対策本部
黒東地域農業技術者協議会

育苗計画

～5月15日を中心とした田植えにあわせた育苗計画で、老化苗をつくらない！～

【育苗～田植えの作業別時期の目安】

浸種開始	催芽	播種	ハウス搬出	田植	育苗日数
4月8日	4月16日	4月18日	4月21日	5月10日	22日
4月16日	4月23日	4月25日	4月28日	5月15日	20日
4月24日	4月30日	5月2日	5月5日	5月20日	18日

浸種

※薬剤の効果を高めるため、浸種は次のことに注意しましょう。

- ・ 浸種時の水温は10～15℃を保ちましょう。(特に浸種初日は、12℃以上を確保してください)
- ・ 浸種始めは2～3日程度水を交換しないでください。その後の水の交換は2日に1回とし、流水中での浸種や頻繁な水の交換は、薬剤の効果を低下させるので注意しましょう。
- ・ 浸種期間は、7～10日程度が目安です。
- ・ 水槽は水温の温度変化が大きくなるように、直射日光が当たる場所に置くのは避けましょう。

催芽

- ・ 育苗器を使用する場合は、30℃を厳守する。(風呂湯を使用する場合は、最初の温度は37℃に調整します)。
- ・ 芽の長さは、ハトムネ～2mm程度が目安です(伸び過ぎないように注意！)。

播種

- ・ 1箱当たりの播種量は、乾粃で120g(催芽粃で150g)程度です。

出芽

- ・ 育苗器の温度は、30℃を厳守する。
30℃を超えると、カビや苗立枯病が発生する原因となります。
- ・ 育苗器のサーモの作動状況を事前に確認しましょう。

ハウスの温度管理

●緑化期(搬出後2～3日)

※ハウス内の温度は25℃を超えないよう、搬出直後から換気しましょう。
ただし、夜温が10℃以下になると予想されるときは、ハウスを早めに閉める。

- ・ ハウス搬出直後は、土が落ちつくまで水をしっかりかけましょう。
- ・ 被覆資材は、搬出2日を目安に緑化後は速やかに外しましょう。